

令和2年度 学校法人明星学園
認定こども園 清泉幼稚園における自己評価

【評価結果の表示方法】

A：十分理解できている B：理解できている C：一部努力が必要 D：努力が必要

《教育課程の編成と実施に関する評価》

項目	点検内容	評価				取組状況について
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	○				
	(2) 目標は、園や地域の特色を生かしている。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映している。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしている。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。		○			
指導について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成している。	○				
	(2) 幼稚園教育要領に基づく指導援助が適切に行っている		○			
	(3) 環境の構成を意識した指導方法や課程を常に工夫している。		○			
	(4) 教材、教具を適切に活用している。	○				
	(5) 評価課程を基に、指導の改善に努めている。		○			
教育時週間数	(1) 教育週数を確保している。			○		緊急事態宣言の発出により、4月中旬～5月末、新型コロナウイルス感染による臨時休園措置（11月）により適正に行えなかった。
	(2) 登園・降園時刻と1日の流れは現行で良い。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切である。	○				
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的にしている。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れている		○			

《教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価》

項目	点検内容	評価				取組状況について	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっている。		○			新型コロナウイルス感染症の予防の為、異年齢による交流活動は思うように行うことが出来なかった。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっている。		○			
		(3) 職員の配置は、適材・適所である。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切である。		○			
	運営	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成している。		○			
		(2) 幼稚園教育要領に基づく指導援助が適切に行っている		○			
		(3) 環境の構成を意識した指導方法や課程を常に工夫している。		○			
	学年・学級経営	(1) 学年・学級目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定している。		○			
		(2) 学年・学級目標は、幼児の実態に即して設定している。		○			
		(3) 学年・学級目標に迫る短期・長期のねらいは、適切に設定している。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている。			○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育をしている。		○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積している。		○			
	保健・安全指導	(1) 学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じている。		○			
		(2) 避難訓練、交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	○				
		(4) 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	○				
	開かれた幼稚園づくり	学校間交流・連携	(1) 他校種との年間交流計画は、保育・教育目標や話題に添ったものになっている。		○		
(2) 他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っている。				○			
(3) 指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。				○			
(4) 参観や指導に参加するなどして、他校種の教育を理解している。				○			
(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしている。				○			

《教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価》

項目	点検内容	評価				取組状況について	
		A	B	C	D		
開かれた幼稚園づくり 家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定している。			○		新型コロナウイルス感染症の予防の為、時期を考えながら短時間での参観を行った。また地域との交流行事を計画していたが、今年度は中止となった。	
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切である。		○				
	(3) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流している。		○				
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている。		○				
開かれた幼稚園づくり 子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭、保育室等を開放している。		○			新型コロナウイルス感染症の予防の為、保護者を対象とした学習の機会を設けることが出来なかった。	
	(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っている。		○				
	(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っている。	○					
	(4) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している。			○			
	(5) 教職員による育児に係る「子育て相談」は充実している。		○				
	(6) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	○					
開かれた幼稚園づくり 情報発信	(1) 園だより・学級通信、ホームページ等で園の情報を発信している。	○					
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や他校種に対して周知している。		○				
開かれた幼稚園づくり 外部評価	(1) 園評議員の意見を園運営に反映している。				○	評議員の意見を反映することが出来なかった。	
	(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映している。		○				
研究・研修	園内	(1) 研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものである。		○			
		(2) 園内研修の計画・運営は適切である。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させている。		○			
		(4) 研究の実践による幼児理解が深まりを見せている。		○			
	園外	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加姿勢の充実を図っている。		○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元している。		○			
経出納	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理している。	○					

《教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価》

情報 について	(1) 幼児や保護者に関する個人情報 を適正に扱っている。	○				
	(2) 公文書収受、発送、処理を適切に行っている。		○			
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理をしている。	○				
項目	点 検 内 容	評 価				取組状況について
		A	B	C	D	
施設 ・ 設備	(1) 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っている。		○			
	(2) 遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管している。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っている。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。		○			

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、予防の為、例年通りの運営が難しく、状況によって延期、中止、または規模の縮小など余儀なくされた。また、当園で新型コロナウイルス感染症の発症者が出たりと、前例のない経験をした年度となり、保護者の皆様には、多大なるご不便やご迷惑等もお掛け致しましたが、更なるご理解やご協力を頂くことが出来たおかげで、運営を行うことができたこと教職員一同、心より感謝申し上げます。